

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月02日

計画の名称	中央公園豊田スタジアム長寿命化対策支援事業（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　（５年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	豊田市													
計画の目標	【地域防災活動拠点機能の維持・確保】													
	豊田スタジアムが建設後１９年を経過したことから、「豊田市中央公園長寿命化計画」に基づき、計画的に保全を行い、施設の長寿命化を図り、防災拠点としての機能維持及びトータルコスト縮減を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		4,360	A	4,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1	R3	R6
1	公園施設長寿命化計画に基づく豊田スタジアムの各施設（部位・設備等）の更新率の増加（健全度判定でC又はDと判定されたものに限る。） 更新又は改修が必要な施設（部位・設備等）のうち、更新又は改修が完了した施設（部位・設備等 ※詳細調査等による健全度再評価を含む。）の割合 更新が完了した施設（部位・設備等）/更新が必要な施設（部位・設備等）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	豊田市	直接	豊田市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（５か年防公）	豊田スタジアム主要構造部（鉄骨躯体塗装・防水）改修	豊田市	■	■	■	■		1,780	1.46	策定済	
	A12-002	公園	一般	豊田市	直接	豊田市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（５か年老朽）	豊田スタジアム空調設備、防災設備、プールのろ過器更新	豊田市		■	■	■		341	1.46	策定済	
	A12-003	公園	一般	豊田市	直接	豊田市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業	豊田スタジアム主要構造部（鉄骨躯体塗装・防水）改修、空調設備、防災設備、プールのろ過器、送風・排煙設備、発電設備等の更新	豊田市		■	■	■	■	2,239	1.46	策定済	
												小計						4,360		
											合計						4,360			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

基幹事業課にて実施

事後評価の実施時期

令和8年6月

公表の方法

豊田市 建築保全・住宅課ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

長寿命化対象部位、設備等の更新または改修を行ったことにより、施設利用者の安全・安心の向上や、防災拠点の機能維持に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

豊田スタジアムにおいては長寿命化計画に基づき、今後も施設の不具合や劣化状況を点検等で確認し、安全・安心で魅力的な施設として、また、災害時における防災拠点として維持していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	健全度CまたはDが改善された部位数/当初（見直しを含む）健全度がCまたはDであった部位		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	